

## ビグアナイド系糖尿病薬服用中の患者のヨード造影検査について

国立病院機構青森病院放射線科

ビグアナイド系糖尿病薬服用患者において、ヨード造影剤の投与により一過性に腎機能が低下した場合、ビグアナイド系糖尿病薬の腎排泄が減少し、乳酸アシドーシスを起こす危険性があります。

わが国のビグアナイド系糖尿病薬の添付文書では、ビグアナイド系糖尿病薬の投与自体が「中等度以上の腎障害で禁忌」とされており、また、「ヨード造影剤を用いて検査を行う患者においては、本剤の併用により乳酸アシドーシスを起こすことがあるので、検査前は本剤の投与を一時的に中止すること（ただし、緊急に検査を行う必要がある場合は除く）。ヨード造影剤投与後 48 時間は本剤の投与を再開しないこと。投与再開時には、患者の状態に注意すること。」と記載されています。

欧米のガイドラインでは、2019 年 5 月現在のところ、腎機能が正常で特に合併症がない場合、ヨード造影剤を用いた検査の前にビグアナイド系糖尿病薬の休薬をすすめるものではありません。

我が国の「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン 2018」では、「ヨード造影剤を投与する場合には、緊急検査時を除きビグアナイド系糖尿病薬を一時的に休薬するなどの、適切な処置を行うことを推奨する」とされています。

これらを勘案し、当科では以下の方針とさせていただきます。

### **eGFR が 60ml/min/1.73m<sup>2</sup> 以上 :**

原則として休薬は必要ありません。ただし、患者背景（高齢者、やせ、その他合併症がある場合など）に応じて、ビグアナイド系糖尿病薬の服用を一時的に中止していただくこともあります。

### **eGFR が 30 ml/min/1.73m<sup>2</sup> 以上 60ml/min/1.73m<sup>2</sup> 未満 :**

検査前 48 時間と検査後（少なくとも）48 時間は休薬していただきます。休薬期間終了後、ご依頼元において腎機能や乳酸アシドーシスをチェックの上、再開をお願いします。

### **緊急の検査で、eGFR が不明あるいは eGFR が 60 ml/min/1.73m<sup>2</sup> 未満 :**

原則として造影しません。